



丸亀城のお堀を泳ぐこいのぼり
 春風にはためくこいのぼりは、5月3日、4日に
 開催される丸亀お城まつりに華を添えます。

3月定例会 2月22日～3月23日

主な内容

- 本会議のあらまし 2
- 質疑・討論 3
- 代表質問 4
- 総括質疑 6
- 委員会審査(常任委員会) 10
- 予算決算特別委員会 11
- 附帯決議 12
- 審議結果 13
- 議案の内容 14
- 議会のヒトコマ・編集後記 16

3月定例会

平成30年度予算可決

職員の特殊勤務手当改正に 対する附帯決議を可決

本会議の あらまし

市議会3月定例会は、2月22日から3月23日まで30日間の会期で開かれました。

初日にまず、中讃広域行政事務組合議会議員の補欠選挙を行い、山本議員を選出しました。次に平成29年度関係18議案を議題とし、委員会付託を省略



市政方針を表明する市長

し、1名が質疑を行いました。1名から議案第12号、第13号に反対、1名から議案第17号に反対の討論があり、3議案を分離して起立採決を行った結果、いずれも賛成多数で原案を可決しました。残る15議案は一括採決により原案を可決しました。続いて総額435億円の一般会計予算など平成30年度関係28議案が提案され、市政方針の表明と提案理由の説明がありました。その後、予算を集中的に審査するため、予算決算特別委員会を設置しました。

26日は、志政会・市民クラブ・市民の声・公明党の各党派代表が、市政方針と新年度予算について代表質問に立ち、28日から3月2日までは、新年度予算や市政方針について、11名が総括質疑を行いました。

総括質疑終了後、30年度関係議案は常任委員会と予算決算特別委員会に付託され、6日に総務と生活環境、7日に教育民生と都市経済委員会、8日、9日、12、14日に予算決算特別委員会が開かれ、細部にわたって審査されました。

23日の最終日は、委員会に付託された議案の審査結果について、各委員長からいずれも原案承認との報告がありました。議案第19号、第26号、第28号、第32号まで及び第39号の8議案について1名から反対討論があり、それぞれ起立採決を行った結果、いずれも賛成多数で原案を可決しました。

議案が可決された後、議案第19号に対する附帯決議、議案第33号に対する附帯決議の2件の決議案について、議事日程に追加して審議を行いました。

1名から決議案に反対する討論があり、起立採決を行った結果、決議案2案はいずれも賛成多数で可決しました。

その後、議員提出議案第1号を可決し、最後に市長が年度末のあいさつを行い、今期定例会は閉会しました。

中讃広域行政事務組合 議会議員の補欠選挙

(新) 山本 直久
※横田隼人議員が1月31日付けで同組合議会議員を辞職した
ことによるもの

予算決算特別委員会を設置し 新年度予算を集中審議

平成30年度当初予算について、23名の議員を特別委員に選び、5日間にわたり審査しました。

(○)委員長 (○)副委員長

予算決算特別委員会

◎三宅 真弓	○内田 俊英
武田 孝三	竹田 英司
東 由美	中谷真裕美
神田 泰孝	岡田 剛
大西 浩	香川 勝
川田 匡文	真鍋 順穂
多田 光廣	横田 隼人
小橋 清信	横川 重行
松浦 正武	加藤 正員
山本 直久	大前 誠治
福部 正人	水本 徹雄
国方 功夫	

29年度議案に対する

質疑

質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

中谷真裕美

①一般会計補正予算（個人番号カード関連）②介護給付費準備基金条例の一部改正③水道事業廃止関係議案

水道事業 市としての責任は

Q 中谷議員 市長はこれまで広域水道となった場合に不安視される問題について、丸亀市の現計画どおりに水道管の耐震化を進める、廃止予定の自己水源も予備水源として維持すると説明してきた。必ず守っていただきたいが、議案が可決され市に水道事業がなくなった後においても、行政として市民に対する責任を持てるのか。

A 水道部長 広域水道企業団の運営は、市から派遣された職員が引き続き携わる上、構成団体の首長で構成される運営協議

質疑・討論

会、本市市議会からも選任している企業団議会において審議されることもあり、現計画どおりの水道管耐震化や自己水源の維持については特段の支障はないと考えている。水道事業は広域水道企業団が引き継ぐが、本市が全く関与しない仕組みにはなっていない。

討論

議案に賛成×反対の意見を表明します。



◎29年度関係議案

《反対討論》

中谷真裕美

議案第12号 水道事業の設置等に関する条例の廃止
議案第13号 水道事業廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

理由

水道事業は基礎自治体である市が行うべきであり、広域化による事業廃止に反対する。

《反対討論》

水本 徹雄

議案第17号 損害賠償の額の決定

理由

職員のミスによって発生した損害を、市民の税金で全額弁償することに疑問を感じる。

◎30年度関係議案

《反対討論》

中谷真裕美

議案第19号 一般会計予算（個人番号カード関連事務、人権問題推進活動費、図書館窓口・給食調理・ごみ収集業務の委託、広域水道企業団職員管理費）
議案第26号 介護保険特別会計予算
議案第28号 モーターボート競走事業会計予算

議案第29号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
議案第30号 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議案第31号 政務活動費の交付に関する条例の一部改正
議案第32号 モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正
議案第39号 介護保険条例の一部改正
決議案第1号 議案第19号に対する附帯決議
決議案第2号 議案第33号に対する附帯決議

本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。
中讃ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ
トップ左列

●丸亀市議会

→ インターネット中継(外部リンク)

クリック



質 問

会派を代表する議員が、市長の市政方針、新年度予算
その他市政全般に関することについて質問を行います。

代 表 質 問

志 政 会



小橋 清信

健全財政確保の方策

Q 新庁舎や新市民会館など多額の財源を要する施設整備に、財政面で不安の声も聞かれる。本市財政の現況と今後への見通し、健全財政の確保に向けた具体的方策の説明を。

A 市長 平成30年度予算は、扶助費などの義務的経費の増加や公共施設の老朽化対策などから規模の増加は避けられず、過去最大の予算となった。今後、平成33年度までに約95億円の財源不足を見込んでおり、厳しい状況が予測されるが、これまで積み立てた基金の効果的かつ効率的な活用により、財源不足に対応しながら健全財政を堅持したい。

事業棚卸しの内容

Q 新年度予算編成時に、事業棚卸しを通じて既存事業を検証し、変化を恐れず再構築したとのことだが、内容は。

A 総務部長 民間企業が行う

市民クラブ



加藤 正員

子育て支援の充実

Q 一時預かり事業の拡充、飯山・綾歌地区での病児病後児保育事業の実施は保護者からの要望が多いが、どのようにする考えか。

A こども未来部長 現在、一時預かり事業は保育所7か所で実施しており、31年度から新たに飯山町で1か所開設を予定しているが、現状では利用者が多く満員で利用できない日もあるので、保育士の確保状況など勘案しながら引き続き拡充を検討したい。また、新年度からは幼稚園6か所、こども園2か所でも午後2時から4時までの間、一時預かりを実施する。

大手町4街区の整備

Q 策定中の立地適正化計画において、中心拠点となる大手町4街区の整備をどのように考えているのか。

A 都市整備部長 公共事業と

綾歌三山を生かす施策

して大手町4街区の再編整備を進め、行政機能の集約、交通アクセスの向上、交流やにぎわいを生み出す公共空間の整備を行い、民間活力を誘導し、活気あふれるまちなかの再生を目指したい。

Q 綾歌三山の一つ、城山には中世の山城跡があり、文化的価値が高い。国の史跡の指定に向けた取り組みを行う考えは。また、綾歌三山の中にあり、多目的研修棟やキャンプ場を擁する綾歌森林公園の総合的な整備計画を策定する考えは。

A 教育部長 城山にある西長尾城跡は、中世城館跡として重要な遺跡ではあるが、範囲が広く指定には様々な課題もある。県や文化庁とも協議しながら適切に対応したい。
A 都市整備部長 綾歌森林公園の総合的な施設の整備計画は必要と考えている。